

【資料01-1】 観光施設(海水浴場施設)

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針
 定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

No.	財産分類(小)	施設名	所在地	政策優先度	定量的評価(施設一次評価)	建築年(経過年/耐用年)	延床面積	配置運営形態	機能	対象利用者の範囲区分	(H30～R2年度)			方策パターン							施設情報								
											収入平均3年平均(千円)	支出平均3年平均(千円)	年度利用者数合計3年平均(人)	集約化	複合化	転用	施設規模の縮小(減築)	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持(更新)		廃止(売却/譲渡/跡地活用)							
1	観光施設 海水浴場施設	赤亀・風島なぎさ公園 海水浴場施設		両津	高/ー	C	1985 (38/22)	111		休憩所 管理棟 トイレ 更衣室 シャワー室	全域 広域	47	1,221	1,484	○※1、 △	○※1、 △	○	○	○	○	○	○	○	総	・現状は大規模改修の必要はない。 ・トイレ機能としては使用していない。 ・指定海水浴場施設として利用見込みもあり、今後も機能修繕し維持していく。				
2	観光施設 海水浴場施設	二ツ亀海水浴場		両津	高/ー	B1	1979 (44/34)	47		トイレ 更衣室 シャワー室	全域 広域	0	0	5,224	○※1、 △	○※1、 △									○	総	・指定海水浴場であり、存続の方向だが委託先との交渉が課題となっている。		
3	観光施設 海水浴場施設	達者海水浴場施設		相川	高	B1	1975 (48/31)	89		監視所 トイレ 更衣室 シャワー室	全域 広域	51	1,305	4,747	○※1、 △	○※1、 △										○	総	・海水浴場の設置のため不可欠だが、老朽化が著しく進行している。 ・昨今、人気の高いSUPやカヤックなどのマリンスポーツイベントの利用者が増加傾向にあり、今後も施設の有効活用が見込まれることから、施設の修繕・改修をしながら維持していく。	
4	観光施設 海水浴場施設	入崎海水浴場施設		相川	高/低	B1	1978 (45/17)	113		更衣室 シャワー室	全域 広域	57	1,427	2,066	○※1、 △	○※1、 △										○	※、 総、個	・自然環境が厳しい場所に設置してある施設のため、劣化が早く進行している。 ・更衣室は物置状態となっており、利用見込みはなく解体予定。	
5	観光施設 海水浴場施設	海の家さわた		佐和田	高	B1	1985 (38/34)	348		1F交流 スペース 2F休憩 スペース 更衣室 シャワー室 トイレ	全域 広域	558	6,015	5,414	○※1、 △	○※1、 △										○	総	・トリアスロン等のスポーツイベント本部として使用。マリンスポーツの拠点として通年営業を目指している。 ・1F交流スペースを中心にカヤック・SUPの貸出、レンタルサイクル業務等で利用。 ・2023年よりサンフロンティア佐渡株式会社業務委託し、昨今人気の高いSUPやカヤックなどのマリンスポーツ振興等、施設の有効活用を進めており、今後も施設の有効活用が見込まれることから、施設の修繕・改修をしながら維持していく。民間譲渡も検討する。	
6	観光施設 海水浴場施設	佐和田海水浴場施設 (棧橋含む)		佐和田	ー	ー	1986	0		土地、棧橋	全域 広域	0	0	4,307	△	△										○	総	・通年で棧橋に訪れる観光客・地元住民が増加しており、今後も機能修繕しながら維持していく。	
7	観光施設 海水浴場施設	多田海水浴場		畑野	低	C	1996 (27/34)	60		トイレ 更衣室	全域 広域	0	83	417	○※1、 △	○※1、 △	○									○	総、個	・廃止を検討しており、地元集落と協議することとする。当面は老朽化への対応による施設利用者の安全確保を最優先して機能修繕する。	
8	観光施設 海水浴場施設	素浜第2サービスセンター		小木	ー	C	1989 (34/24)	322			全域 広域	0	0	0	○※1	○※1	○	○									○	総	・現在使用しておらず、解体待ちの状況。
9	観光施設 海水浴場施設	素浜青少年海の家		小木	高	C	1976 (47/34)	506			全域 広域	0	4,534	3,927	○※1	○※1	○	○	○								○	総	・物置等で利用。 ・経年劣化により修繕が必要な箇所が発生しているが、機能修繕しながら維持していく。
10	観光施設 海水浴場施設	カルトピアビーチ 海水浴場施設		羽茂	低	C	1989 (34/22)	143		救護監視棟 トイレ 更衣室 シャワー室	全域 広域	0	138	0	○※1、 △、個	○※1、 △	○	○※1								○	総、個	・更衣室、シャワー棟、救護監視棟は現在使用していない。 ・トイレ棟は、ロングライドの際に活用している。 ・大規模改修が必要となった場合は廃止を検討する。	
11	観光施設 海水浴場施設	苅場海水浴場施設		赤泊	低	C	1972 (51/34)	53		シャワー室	全域 広域	0	311	0	○※1、 △	○※1、 △	○									○	総、個	・地元集落海水浴場として使用(管理人不在)。 ・廃止を検討しており、地元集落と協議することとする。	
12	観光施設 海水浴場施設	城が浜海水浴場施設		赤泊	ー	C	1995 (28/38)	152		トイレ 更衣室	全域 広域	0	540	0	○※1、 △	○※1、 △	○										○	総	・指定海水浴場施設として利用見込みもあり、今後も機能修繕し維持していく。

	観光施設 海水浴場、キャンプ場計	海水浴場施設
総延床面積	3,135	1,944
着色延床面積	3,135	1,944
削減率	100.0%	100.0%

【資料01-1】 観光施設(キャンプ場)

【凡例】 ○※1更新(建替え)伴う ○※2防災補強・耐震確保伴う ○※3費用対効果対策を伴う ※施設所管方針
 定量的評価: A:維持継続 B1:安全性改善 B2:維持継続 C:改廃検討

No.	財産分類(小)	施設名	所在地	政策優先度	定量的評価(施設一次評価)	建築年(経過年/耐用年)	延床面積	配置運営形態	機能	対象利用者の範囲区分	(H30~R2年度)			方策パターン							施設情報	
											収入平均3年平均(千円)	支出平均3年平均(千円)	年度利用者数合計3年平均(人)	集約化	複合化	転用	施設規模の縮小(減築)	民間施設の活用	実施主体・管理運営主体の変更	現状維持(更新)		廃止(売却/跡地活用)
13	観光施設 キャンプ場	二つ亀キャンプ場 	両津	高	A	1967 (56/41)	113		管理棟 トイレ	全域 広域	0	0	1,335			○				○	総	・機能修繕しながら維持していく。
14	観光施設 キャンプ場	入崎キャンプ場 	相川		-	1993	0		炊事場	全域 広域	0	0	582							○※2	総	
15	観光施設 キャンプ場	佐和田森林公園 オートパークさわた 	佐和田		B1	1995 (28)	128	指定管理	管理棟 キャンプサイト (30棟) トイレ 小屋	全域 広域	8	1,751	546	○※1、 △	○※1、 △				○、個	○	総	・2020年迷路施設復旧工事。 2022年外柵改修(一部)。 2023年管理棟サイト屋根改修。 ・機能修繕しながら維持していく。
16	観光施設 キャンプ場	窪田キャンプ場 	佐和田		C	1988 (35)	133		管理棟 炊事施設	全域 広域	0	856	749	○※1、 △	○※1、 △	○			○、個	○	総	・指定管理や業務委託、民間譲渡の 検討が必要。施設は機能修繕なが ら維持していく。
17	観光施設 キャンプ場	素浜キャンプ場 	小木		C	1984 (39)	365		バンガロー トイレ シャワー 炊事施設 管理棟	全域 広域	0	0	91	○※1、 △	○※1、 △	○	個	○	○	○※2	総、個	・R2年に第2炊事場外壁改修工事実 施。R4年にバンガローバルコニー改 修工事実施。 ・指定管理を行ったが収益が向上せ ず、地元への管理委託となっている。 機能修繕しながら維持していく。
18	観光施設 キャンプ場	森林総合利用施設 (爪の沢キャンプ場) 	赤泊		C	1977 (46)	452		工芸体験館 バンガロー×8 トイレ×2 管理棟	全域 広域	366	1,913	875	○※1	○※1	○				○	総、個	・開設期間が短く、費用対効果が見え にくい。 ・バンガローの利用は年間200名程 度である。 ・揚水ポンプ故障により機能停止。 ・R5年度休止。

	観光施設 海水浴場、キャンプ場計	キャンプ場
総延床面積	3,135	1,191
着色延床面積	3,135	1,191
削減率	100.0%	100.0%